

529ヘクタールの水源の森からのホットな情報発信

第151号 2017年3月

やどりき水源林ニュース

発行 (公財) かながわトラストみどり財団 編集 NPO 法人かながわ森林インストラクターの会
 〒220-0073 横浜市西区岡野2-12-20 神奈川県横浜西合同庁舎内
 ☎045-412-2255 URL: <http://www.ktm.or.jp> E-mail: midori@ktm.or.jp

定例観察会のお知らせ (費用等負担はありません)

毎週土曜・日曜の午前10時と午後1時から「NPO 法人かながわ森林インストラクターの会」会員が水源林をご案内します。やどりき水源林ゲート前までお越しください。なお、冬季(12月・1月・2月)は安全確保のため休止します。

さあ 春です！

やどりき水源林に
行ってみましょう



水源林のゲート横にある「寄大橋」も、お色直しをして皆さんのお越しをお待ちしています。

手前にあるジュウカツザクラはこれからが一番綺麗。

3月初旬はまだまだ寒い日もありますが、木の芽は膨らみ、小鳥たちはさえずり始めています。もう春ですね。沈んだ色の世界だった水源林は、これから日に日に彩色されていきます。

やどりき水源林内の標高760m程の所での定着型ボランティア活動
ヒノキ人工林を整備し、針広混交林をめざしています



水源林内では、いろいろな動物が生き生きと活動しています

ニホンジカは林床の植物をモリモリ食べていますが、山まで食べないで欲しいものです。



7月初旬には今年生まれの仔鹿がピョンピョン飛び回っていました。10月には雄が泥浴びをして立派になって現れました。

大きな切株のテーブルに乗って、ニホンリスが松ぼっくりにかじりついてる様子を想像してみましょう。「御馳走様」と、エビフライを置いていきました。



左) アナグマ
この後、地面に顔を突っ込み、大きなミミズを掘り当てました。(夜間撮影)
右) タヌキ
続いてもう一頭歩いてきました。



左) ヤマドリ
夏には雛がお母さんと一緒にいました。
右) カケス
切株をつつきまわっていました。虫を食べていたのかな。

4月の水源林

様々な木や草の花が一斉に咲きだして水源林を彩る季節です。

10月から咲き続けているシュウカツザクラは花も大きく美しくなり、ミツバツツジは山肌のあちこちを彩るようになります。ウツギも先ずヒメウツギが咲きそれから6月まで次々と11種類のウツギの花が見られます。森の案内人と一緒に「花ごよみ」でお花探しをして見ませんか？



シュウカツザクラ

ミツバツツジ

